

全国の電子マネー・ポイントカードを持つ男女 1600 名に聞いた

消費増税後の電子マネーとポイントカードに関する利用実態調査結果

3 人に 1 人が電子マネー・ポイントカードの利用を「増やしたい」

今後あったら良い機能「どこでも貯まる・使うことができる」が 1 位

総合マーケティング支援を行なう株式会社ネオマーケティング（所在地：東京都渋谷区）では、世の中の動向をいち早く把握するために、独自で調査を行っております。今回、2014 年 4 月 15 日(火)～4 月 17 日(木)の期間、全国の男女 1600 名・20 歳～59 歳を対象に「消費増税後の電子マネーとポイントカードに関する利用実態」をテーマにしたインターネットリサーチを実施いたしました。

<調査背景>

消費増税に伴い、買い物の支払時に小銭でのやり取りが増え、財布の中に小銭が多く入っているという方も多いのではないのでしょうか。そこで、注目されているのが「電子マネー」や「ポイントカード」です。財布の中の小銭を減らしたり、交通費などはちょっとお得になったりするようです。今回は「所有枚数」や「今後、あったらいいと思う機能」など、「消費増税後の電子マネーとポイントカードに関する利用実態調査」をテーマにした意識調査を行いました。報道の一資料として、ぜひご活用ください。

【「消費増税後の電子マネー・ポイントカード利用実態調査」 調査結果サマリー】

◆消費増税後、今後の利用意向は電子マネー・ポイントカードともに 1/3 が「増やしたい」

・消費増税後の今後の電子マネー・ポイントカードの利用意向は、電子マネーでは 27.8%、ポイントカードでは 38.8%が「増やしていきたい」と回答し、利用を「増やしたい」意向が 1/3 以上を占めていることがわかりました。

◆平均所有枚数は、電子マネーは約半数が 2 枚以上、ポイントカードでは 3 割の人が 5 枚以上所有、10 枚以上所有も 1 割以上と複数枚所有の傾向が顕著に

・所有枚数は、電子マネーは「1 枚」(44.6%) が最も多く、ポイントカードでは「2 枚」(22.1%) が最も多くなりました。一方で、ポイントカードでは、「5 枚以上」が 34.9%、「10 枚以上」所有も 14.4%いることがわかりました。

◆電子マネー・ポイントカードともに「週 1 回以上」の利用者は 7 割以上、「週 5 日以上」では 2 割以上。利用場所 1 位は「コンビニ」と生活に密着した存在に。利用を希望するポイントの使い方は、「通信費」「交通費」が高い結果に

・利用頻度は電子マネー・ポイントカードともに「週 1 回以上」が、利用場所は電子マネー・ポイントカードともに「コンビニ」が 1 位となり 7 割を占めています。
・ポイントカードのポイントの使い方は、「通信費」(57.0%)「交通費」(43.1%)「公共料金」(40.4%)と生活費での利用を希望しています。

◆所有者の半数近い 44.6%がポイントが無駄にした経験が「ある」と回答

・ポイントの還元に関して無駄にしたことが「ある」、「たまにある」と回答した人は 44.6%。無駄にしてしまった理由としては「使える場所が限られている」(42.1%)「ポイントがどのくらい貯まっているか把握できていないから」(39.8%)「還元額に達しないまま有効期限を過ぎるから」(39.7%)となっています。

◆電子マネー・ポイントカードの改善点は「使える・貯められるお店・場所が少ない点」に加え、電子マネーでは「チャージが面倒」「残高が分かりにくい」が続く

・所有する電子マネーへの改善点では「使えるお店・場所が少ない点」(53.2%)、「チャージが面倒」(37.9%)「残高が分かりにくい」(37.0%)と続きました。ポイントカードでは、「使えるお店・場所が少ない点」(28.9%)が最も多く「ポイントの有効期限が短い点」(28.5%)と続きました。

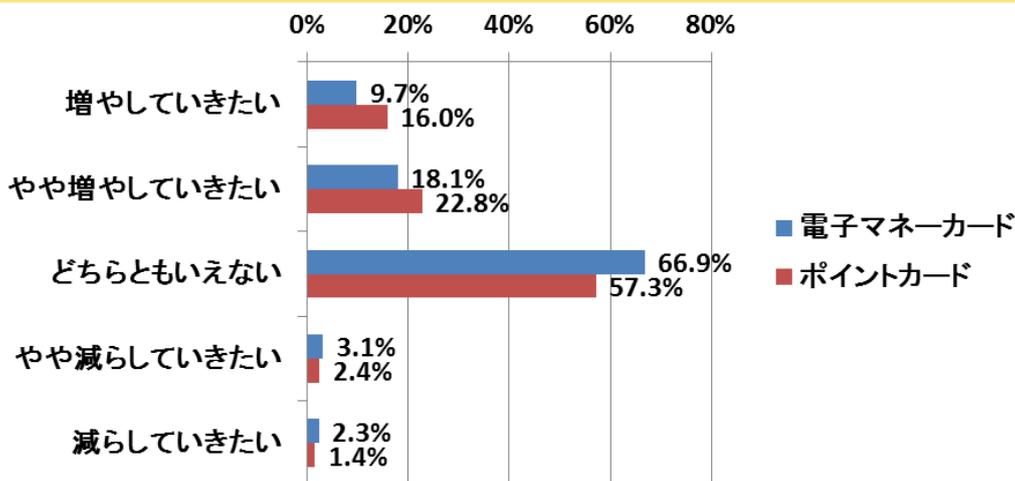
◆今後あったら良い電子マネー・ポイントカードの機能は「どこでも貯まる・使うことができる」が 1 位と、使える場所の多さへの要望が高い

今後あったら良い機能では、電子マネーでは、「どこのお店でも使える」(73.6%)「ポイント還元率が高い」(67.3%)と続きました。またポイントカードでも、「どこのお店でもポイント貯められる」(79.8%)「ポイントの還元率が高い」(56.3%)と同様の回答。電子マネー・ポイントカードともに、「使える場所の多さ」が 1 位となっており「還元率の高さ」よりも要望が高いことがわかりました。

2014. 4. 24

◆消費増税後、今後の利用意向は電子マネー・ポイントカードともに 1/3 が「増やしたい」

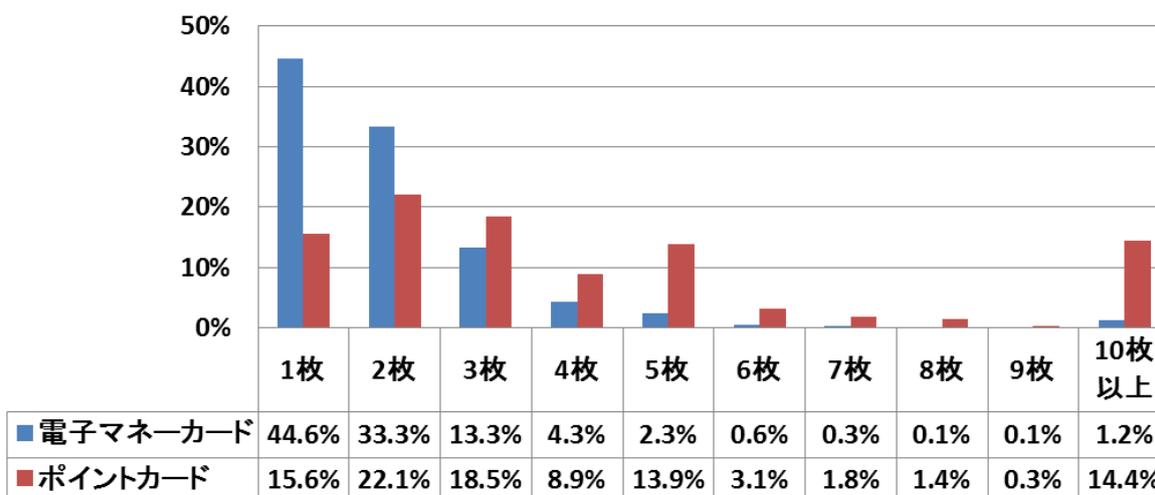
Q1. 消費増税後、今後の電子マネーカード・ポイントカードの利用頻度について、お気持ちに近いものを1つお選びください。(単数回答)【N=1600】



電子マネーとポイントカードをお持ちの方に、今後の利用頻度をお聞きしたところ、最も多い回答は「どちらともいえない」となりましたが、電子マネーは「増やしていきたい」9.7%、「やや増やしていきたい」18.1%と合わせて27.8%の方が増やしていきたいと回答しています。また、ポイントカードも「増やしていきたい」16.0%、「やや増やしていきたい」22.8%を合わせて38.8%の方が増やしていきたいと回答しています。1/3の方が今後、電子マネーやポイントカードの利用を増やしていきたいと考えていることがわかりました。

◆平均所有枚数は、電子マネーは約半数が2枚以上、ポイントカードでは3割の人が5枚以上所有、10枚以上所有も1割以上と複数枚所有の傾向が顕著に

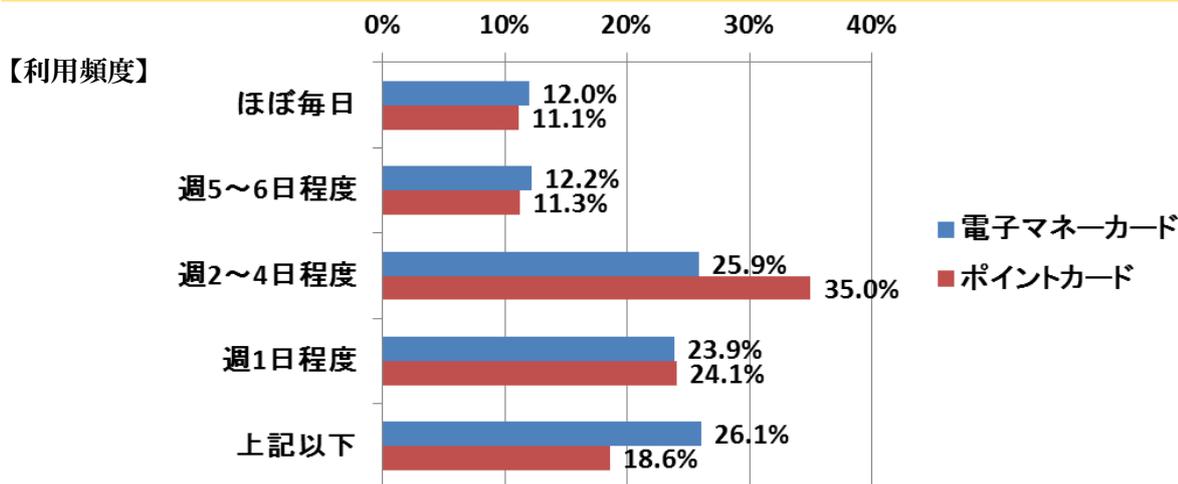
Q2. あなたが持ち歩いている電子マネーカード・ポイントカードの枚数を教えてください。(単数回答)【N=1600】



所有枚数についてお聞きしたところ、電子マネーは「1枚」・44.6%が最も多く、ポイントカードでは「2枚」・22.1%が最も多くなりました。一方で、ポイントカードでは、「5枚以上」が34.9%、「10枚以上」所有の方も14.4%いることがわかりました。財布やカードケースの中に、使用していないポイントカードを複数お持ちの方も多いのかもしれませんが。

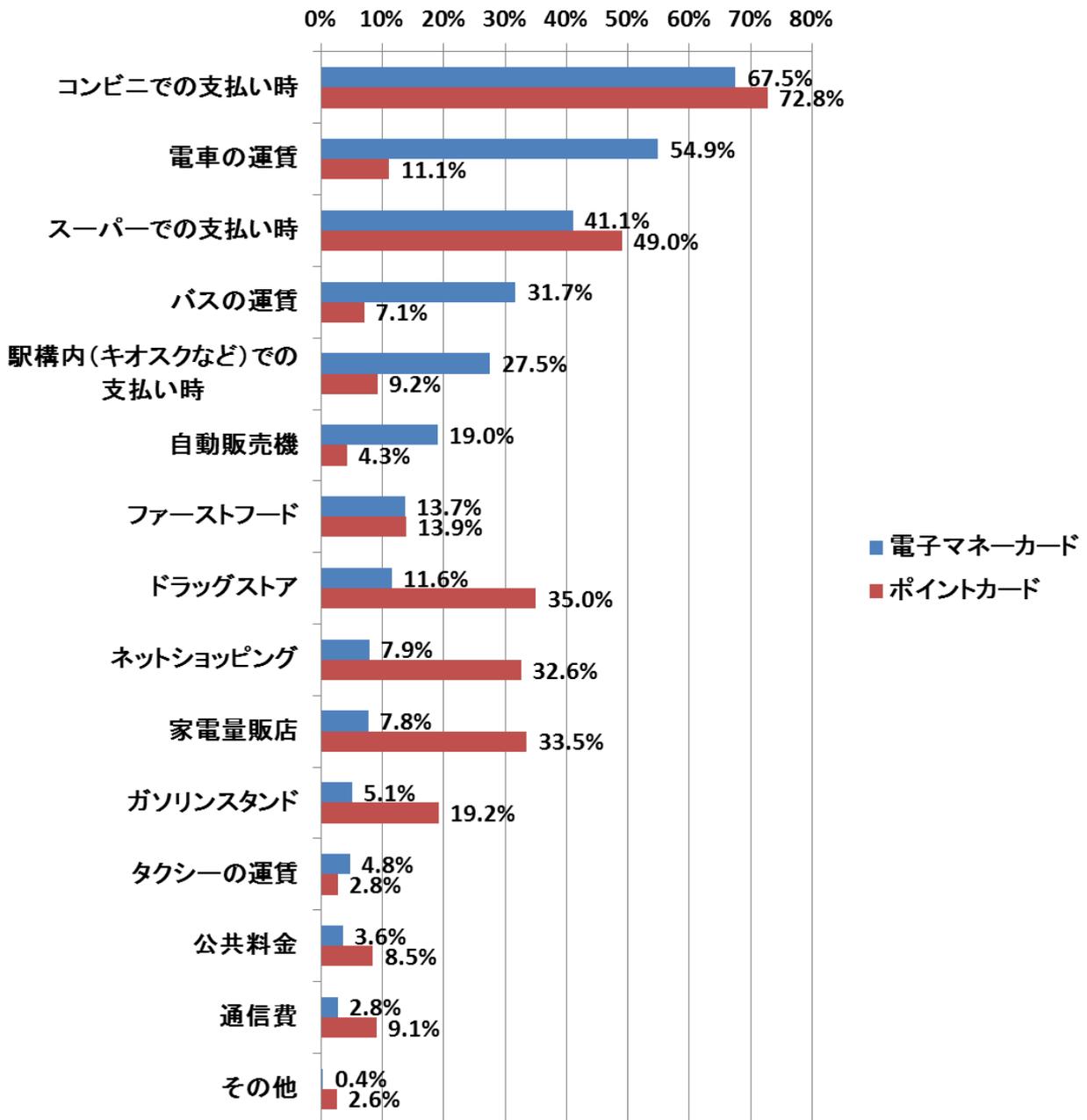
◆電子マネー・ポイントカードともに「週1回以上」の利用者は7割以上、「週5日以上」では2割以上。利用場所1位は「コンビニ」と生活に密着した存在に。利用を希望するポイントの使い方は、「通信費」「交通費」が高い結果に

Q3. あなたの電子マネーカード・ポイントカードの利用頻度を教えてください。(単数回答)【N=1600】



電子マネー・ポイントカードの利用頻度をお聞きしたところ、電子マネー・ポイントカードともに最も多い頻度は「週2~4日程度」となりました。(電子マネーカード25.9%、ポイントカード35.0%)しかし、電子マネー・ポイントカードともに「週1回以上」の利用者が7割以上と生活に密着した存在になっていることが明らかとなりました。

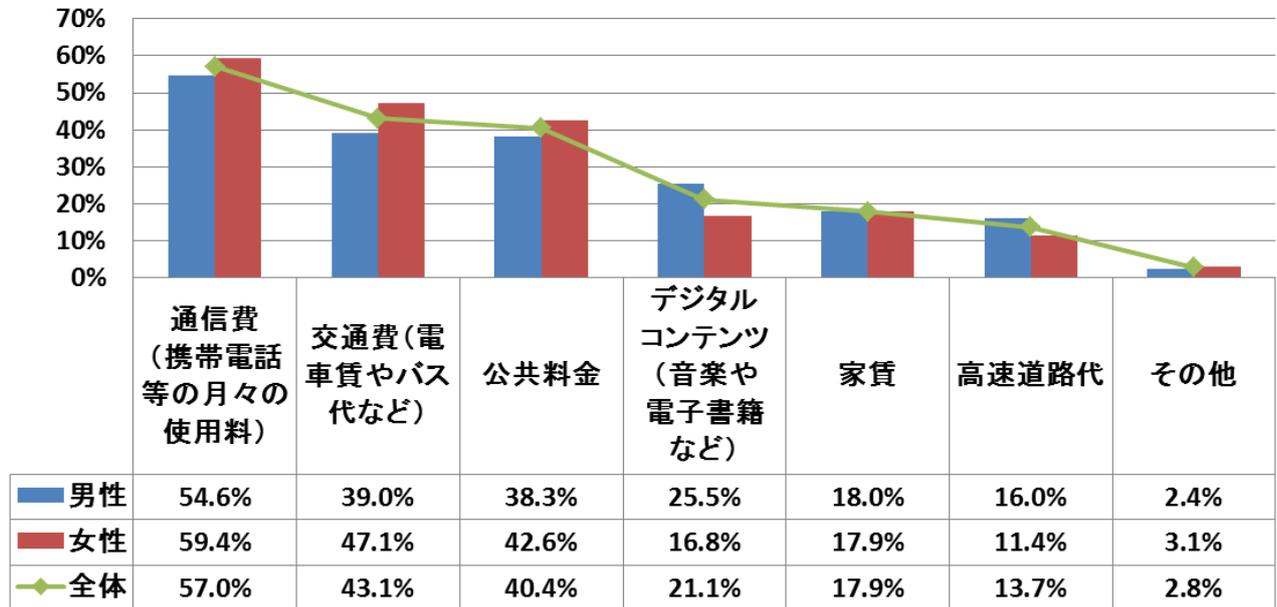
Q4. あなたが普段、電子マネーカード・ポイントカードを利用しているシーンをすべてお選び下さい(複数回答)【N=1600】



利用場所について聞いてみると、電子マネーカード・ポイントカードともに「コンビニ」が1位となり約7割の方が回答しました。また、電子マネーは「電車の運賃」、「バスの運賃」「駅構内(キオスクなど)での支払い時」、「自動販売機」、「タクシーの運賃」の項目でポイントカードを上回る結果となりました。

2014. 4. 24

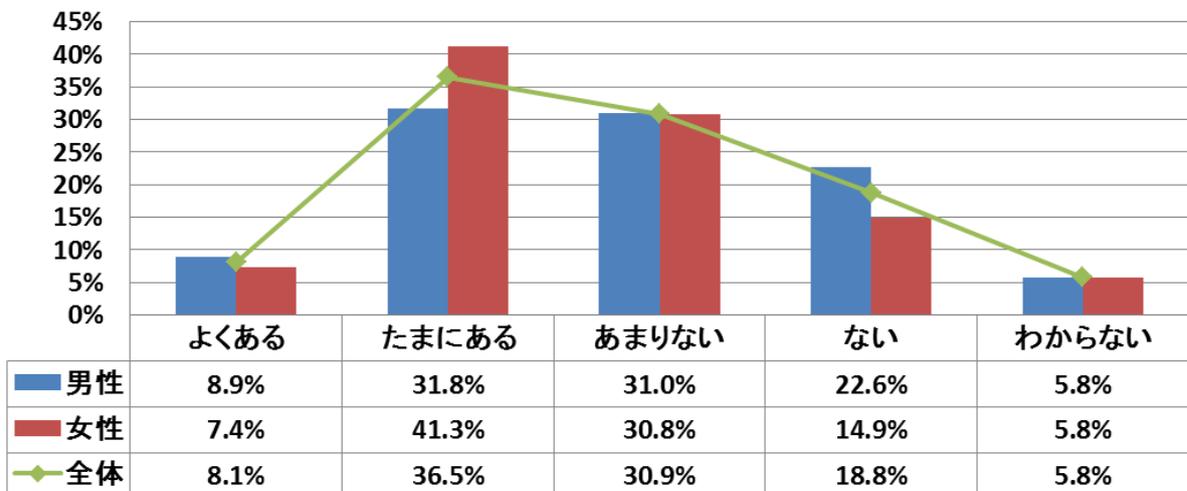
Q5. 今後、もしポイントカードのポイントを還元できるならば、還元したいものをお選び下さい。(複数回答)【N=1600】



ポイントカードのポイント還元として今後、還元したいものをお聞きしたところ、最も多かった回答は「通信費(携帯電話等の月々の使用料)」で57.0%という結果となりました。次いで「交通費(電車賃やバス代など)」・43.1%、「公共料金」・40.4%という結果となっています。多くの方が生活費での利用を希望しているようです。また、性別で比較をしてみると女性は男性よりも「通信費」、「交通費」、「公共料金」でのポイント還元を求めていることがわかりました。

◆所有者の半数近い44.6%がポイントが無駄にした経験が「ある」と回答

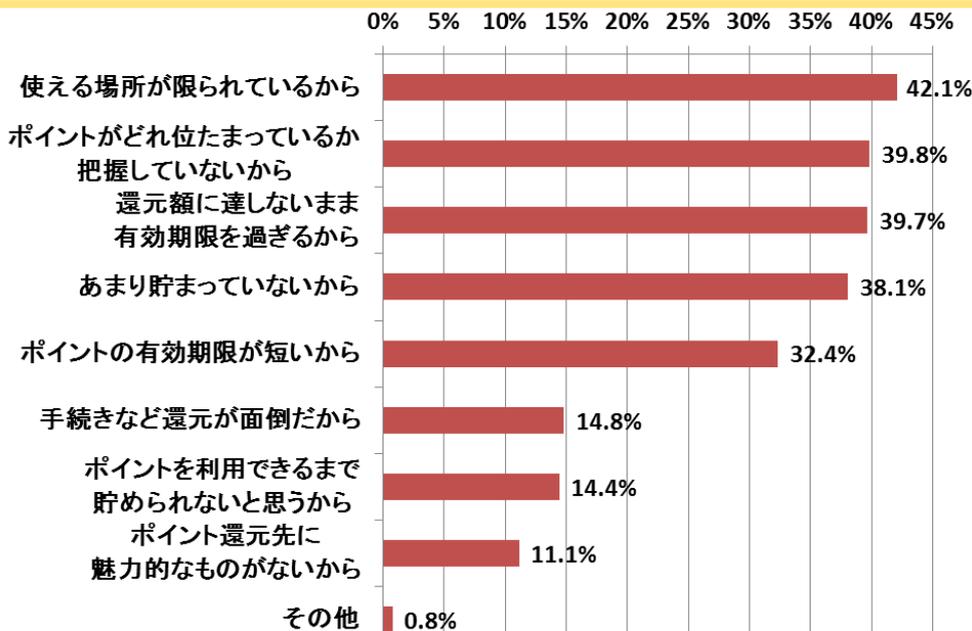
Q6. ポイントを還元せずに、無駄にした経験はありますか。(単数回答)【N=1600】



ポイントの還元に関して無駄にしたことが「よくある」、「たまにある」と回答した人は44.6%となりました。また、男性は40.7%、女性は48.7%と女性の方がポイントが無駄にした経験があることがわかりました。

2014. 4. 24

Q7. あなたが、ポイントカードのポイントを使わない、使えなかった、もしくは還元しない理由を教えてください。(複数回答)【N=1600】

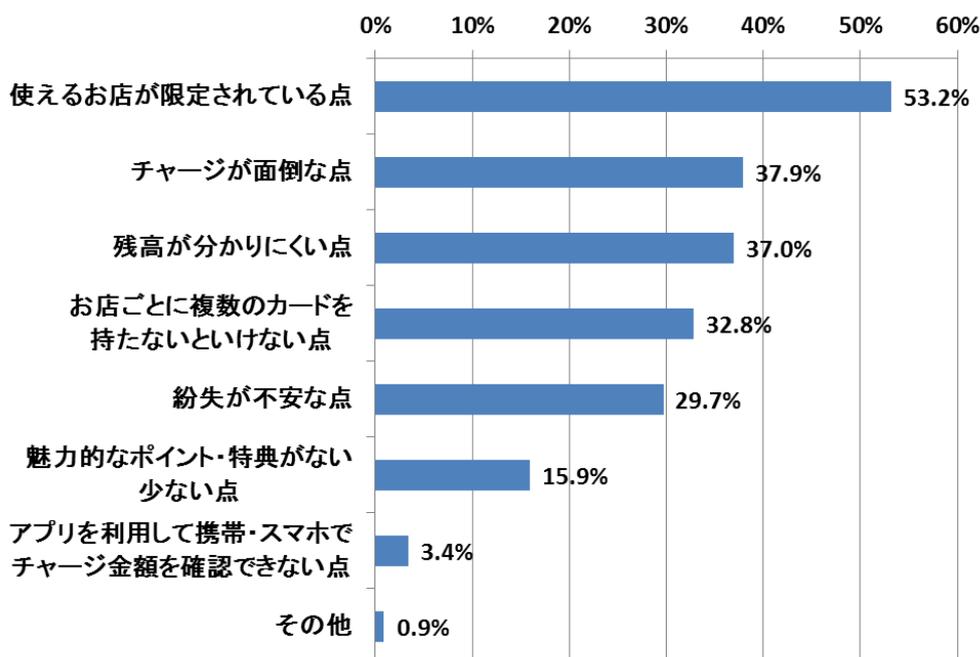


ポイントを還元しないで無駄にしてしまった理由としては「使える場所が限られている」・42.1%、「ポイントがどのくらい貯まっているか把握していないから」・39.8%となっています。多くの方が様々な理由でポイントを無駄にしていることが判明しました。

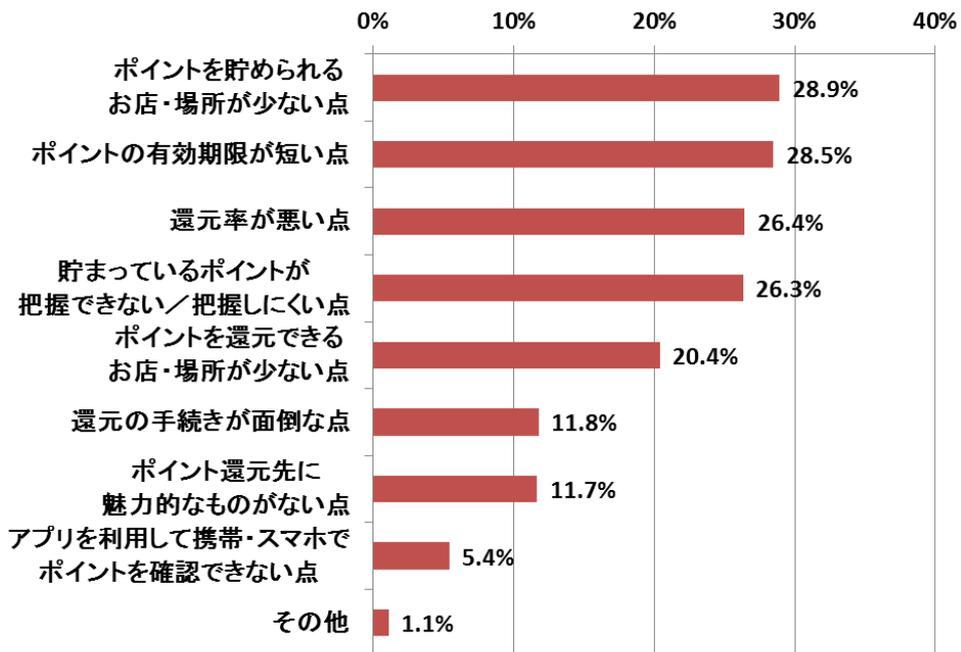
◆電子マネー・ポイントカードの改善点は「使える・貯められるお店・場所が少ない点」に加え、電子マネーでは「チャージが面倒」「残高が分かりにくい」が続く

Q8.電子マネーカード、ポイントカードの改善点を教えてください。(複数回答)【N=1600】

【電子マネーカード】



【ポイントカード】

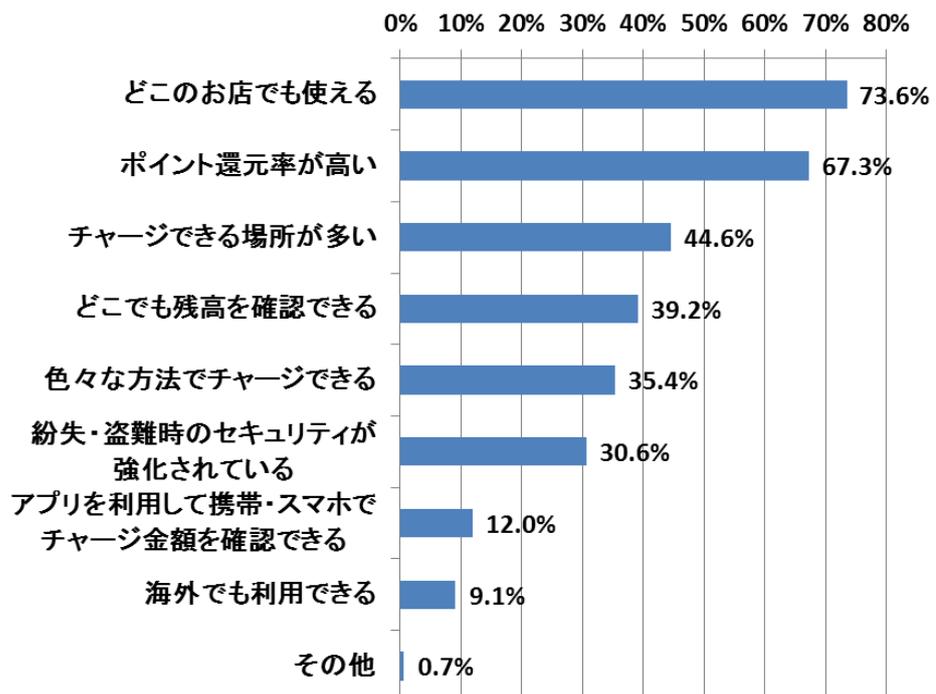


所有する電子マネーカード・ポイントカードへの改善点をお聞きしたところ、電子マネーカードは「使えるお店・場所が少ない点」・53.2%、「チャージが面倒」・37.9%、「残高が分かりにくい」・37.0%と続きました。ポイントカードでは、「使えるお店・場所が少ない点」・28.9%が最も多く「ポイントの有効期限が短い点」・28.5%と続きました。

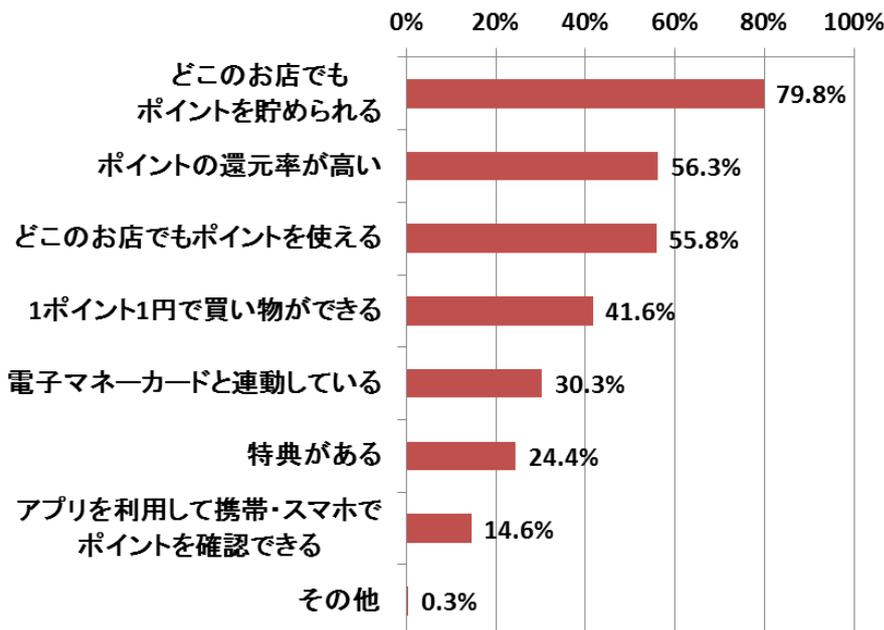
◆今後あったら良い電子マネー・ポイントカードの機能は「どこでも貯まる・使うことができる」が1位と、使える場所の多さへの要望が高い

Q9. 電子マネーの機能としてあれば良いものを教えてください。(複数回答)【N=1600】

【電子マネーカード】



【ポイントカード】



今後あったら良い機能では、電子マネーでは、「どこのお店でも使える」・73.6%「ポイント還元率が高い」・67.3%と続きました。またポイントカードでも、「どこのお店でもポイント貯められる」・79.8%「ポイントの還元率が高い」・56.3%と同様の回答となりました。電子マネー・ポイントカードともに、「使える場所の多さ」が1位となっており「還元率の高さ」よりも要望が高いことがわかりました。今後、「どこでも貯める・使うことができる」電子マネーカードやポイントカードが普及するカードのポイントとなるのではないのでしょうか。

■引用・転載時のクレジット表記のお願い

※本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例>「総合マーケティング支援を行なうネオマーケティングが実施した調査結果によると……」

■「アイリサーチ」

URL : <http://www.i-research.jp/>

【調査概要】

1. 調査の方法：株式会社ネオマーケティングが運営するアンケートサイト「アイリサーチ」のシステムを利用したWEBアンケート方式で実施
2. 調査の対象：アイリサーチ登録モニターのうち、電子マネー・ポイントカードを持つ全国の男女・20歳～59歳を対象に実施
3. 有効回答数：1600人(20～50代：男女各200サンプル)
4. 調査実施日：2014年4月15日(火)～2014年4月17日(木)